

二三八三番

世よの中なかは 常つねかくのみと 思おもへども かつて忘わすれ
ず なほ恋こひにけり

二三八四番

我わが背せ子は 幸さきくいますと 帰かへり来きて 我われに告つげ
来こむ 人ひとも来こぬかも

二三八五番

あらたまの 五いつとせ年ね経まれど 我あが恋こふる 跡あとなき恋こひ
の 止やまなくも怪あやし

二三八六番

巖いはほすら 行ゆき通とほるべき ますらをも 恋こひといふこ
とは 後のちの悔くいあり